

欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) / (1年決算型) 円コース / ユーロコース

追加型投信 / 海外 / 債券



商品販売用資料
2019年10月

お申込みの際は必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

このファンドは、主に欧州諸国のハイ・イールド債券等を実質的な投資対象としています。このファンドの基準価額は、組入れた有価証券等の値動き、為替相場の変動等の影響により変動しますので、投資元本は保証されているものではありません。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

岡三証券

商号等：岡三証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

岡三アセットマネジメント

商号等：岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの特色

1

投資信託証券への投資を通じて、ユーロ建て高利回り社債(以下、「ハイ・イールド債券」といいます。)等に投資します。

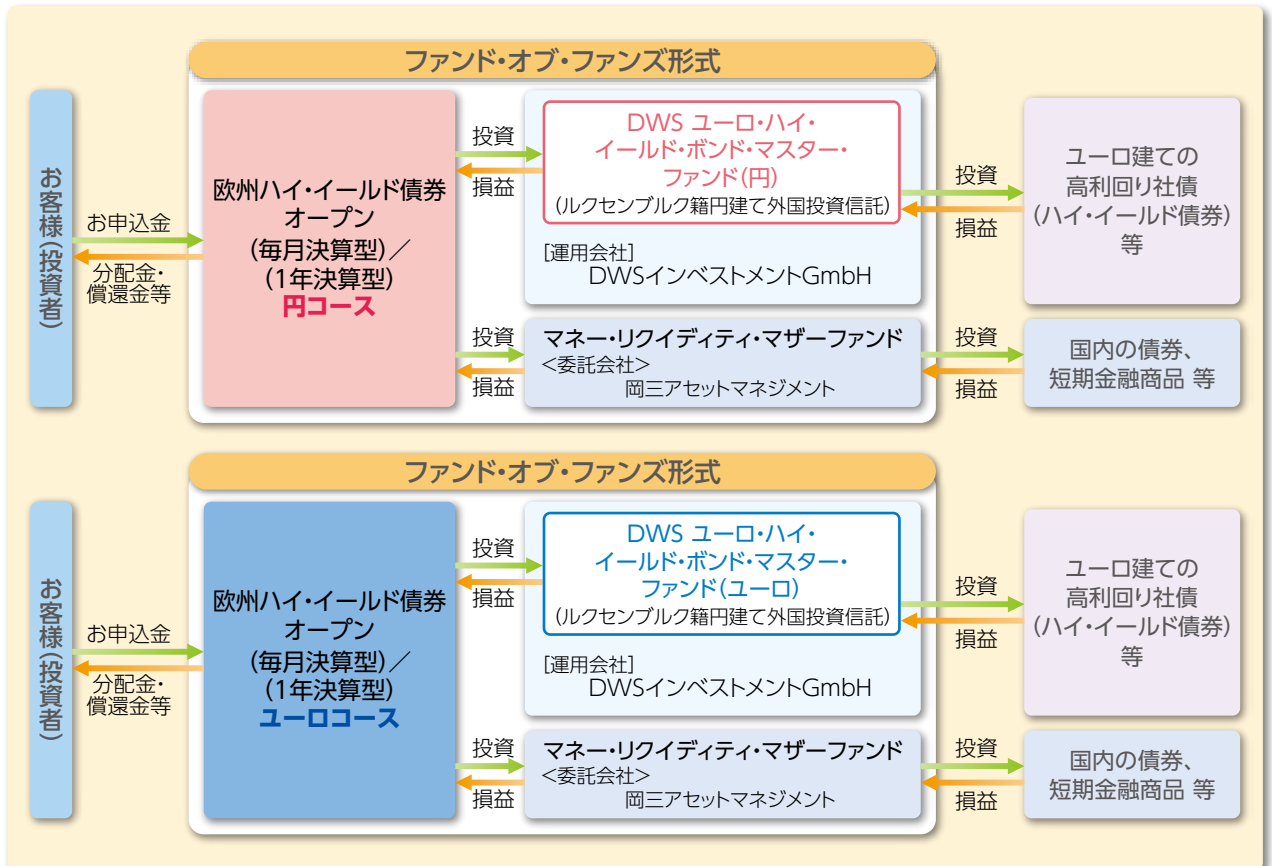
「欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型)」と「欧州ハイ・イールド債券オープン(1年決算型)」には、各々、円コースとユーロコースがあります。

〈欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型)／(1年決算型) 円コース〉

- DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(円)(ユーロ建て資産については対円で為替ヘッジを行います。)
- マネー・リクイディティ・マザーファンド

〈欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型)／(1年決算型) ユーロコース〉

- DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(ユーロ)(ユーロ建て資産については為替ヘッジを行いません。)
- マネー・リクイディティ・マザーファンド



※ファンドの取扱いは販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にご確認ください。
 ※各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの取扱いは販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド」の特色

- 主に欧州諸国のユーロ建てのハイ・イールド債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指します。
- 投資対象には、ユーロ圏以外の国・地域の企業が発行する債券等も含まれます。
- ユーロ建て以外の資産へ投資を行う場合は、当該ユーロ以外の通貨売り、ユーロ買いの為替取引を行うことを原則とします。

2

円コースは、ユーロ建て資産について対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ユーロコースは、ユーロ建て資産の為替ヘッジを行いません。

3

円コースはDWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(円)の組入比率を、ユーロコースはDWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(ユーロ)の組入比率を高位に保つことを基本とします。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

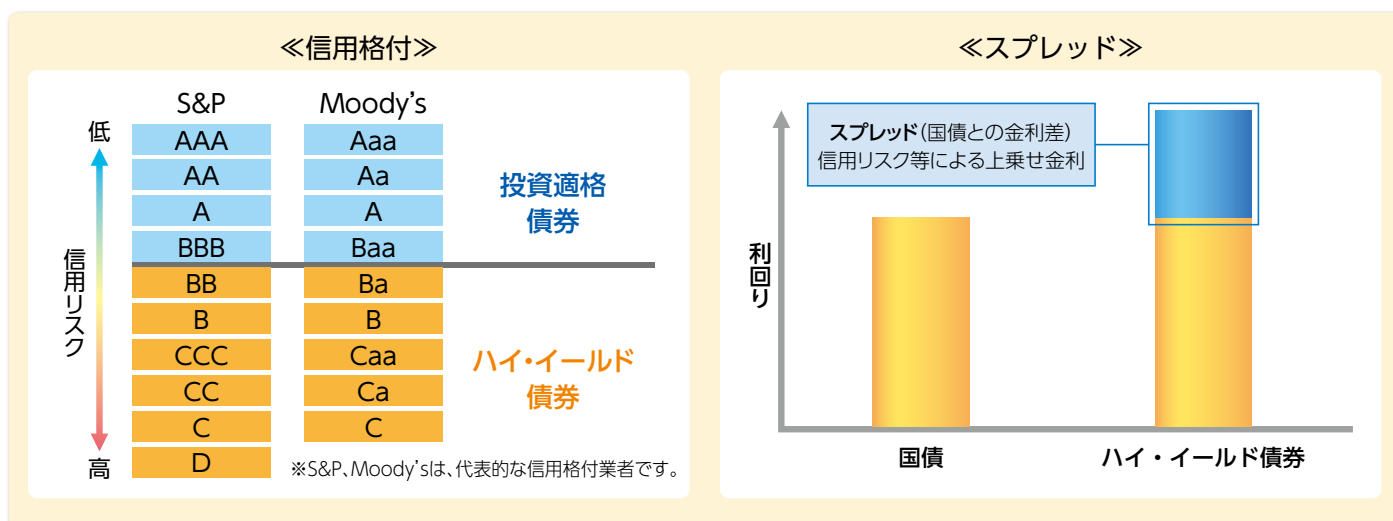
ファンドの分配方針

<p>欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型) 円コース/ユーロコース</p> <p>毎月18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、分配方針に基づき収益分配を行います。</p>	<p>欧州ハイ・イールド債券オープン(1年決算型) 円コース/ユーロコース</p> <p>毎年1月18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、分配方針に基づき収益分配を行います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ● 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。 ● 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 <p>※「収益分配金に関する留意事項」を必ずご覧ください。</p>	

ファンドの魅力

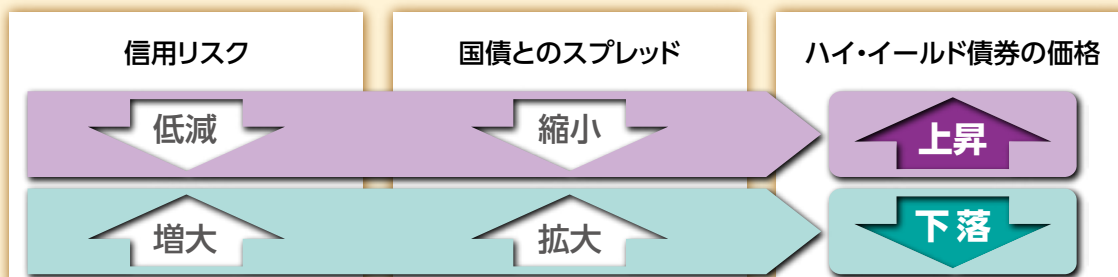
ハイ・イールド(High=高い・Yield=利回り)債券とは…

一般に、信用格付が低い(BB格相当以下(S&P社表記))社債を指します。投資適格債券と比較して、債務不履行(デフォルト)に陥る可能性が高い等、信用リスクが高くなります。一方、信用リスクが高い反面、満期償還までの期間が同じ投資適格債券と比べて、一般に高い利回りで発行・取引されています。



《信用度の変化と債券価格変動のイメージ》

一般に、発行体の信用リスクが低減した場合、国債とのスプレッドは縮小し、ハイ・イールド債券の価格上昇要因となります。一方、発行体の信用リスクが増大した場合、国債とのスプレッドは拡大し、ハイ・イールド債券の価格下落要因となります。




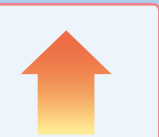




※上記はイメージ図であり、実際とは異なる場合があります。



欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型) / (1年決算型)の選べる2つのコース

為替変動が基準価額に与える影響

 円コース 為替ヘッジあり 為替ヘッジを活用することにより、為替変動リスクを低減します。	メリット 為替変動リスクを低減	デメリット ユーロ圏と日本の短期金利差が為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)となるため、金利差が拡大した場合はコストが増大 ^(注)	円安/ユーロ高 	円高/ユーロ安 
	メリット 円安/ユーロ高による基準価額の上昇	デメリット 円高/ユーロ安による基準価額の下落	円安/ユーロ高 	円高/ユーロ安 
 ユーロコース 為替ヘッジなし 円とユーロの為替の変動による影響を受けます。				

(注) 日本の短期金利がユーロ圏の短期金利より低いケース

※上記はイメージ図であり、実際とは異なる場合があります。

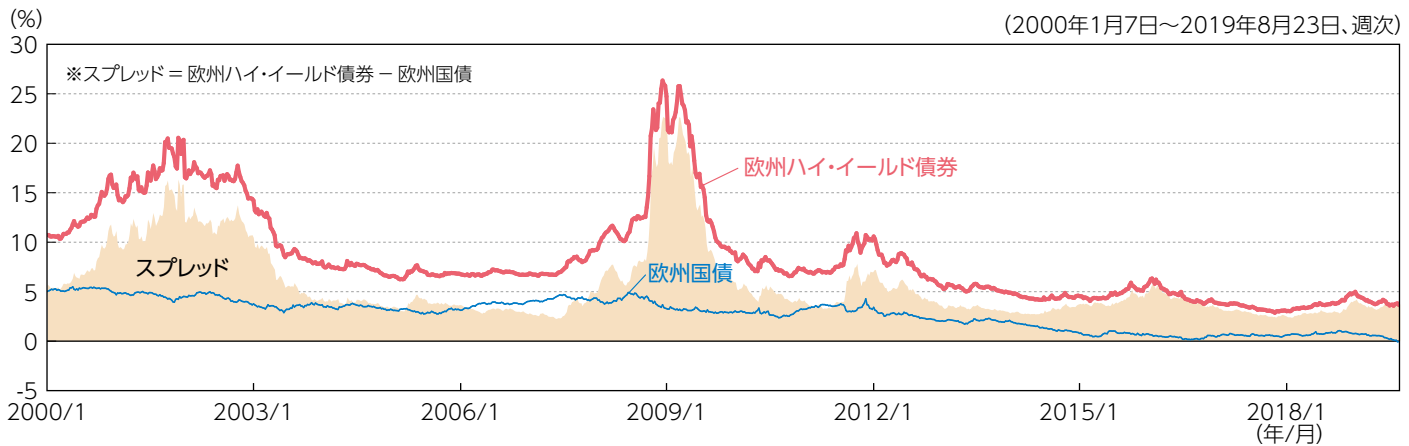


欧州のハイ・イールド債券

利回りの推移

《欧州ハイ・イールド債券および欧州国債の利回りとスプレッドの推移》

(2000年1月7日～2019年8月23日、週次)



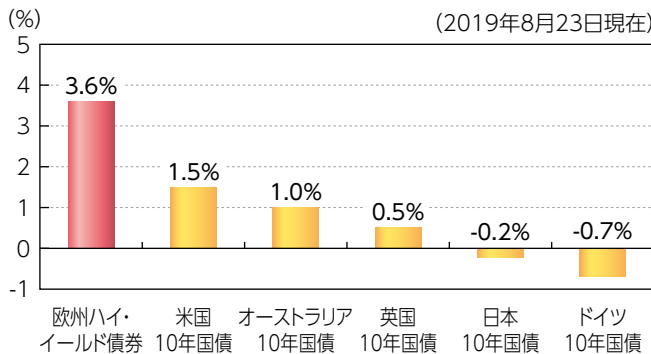
※欧州ハイ・イールド債券の代表的な指数であるICE BofAMLユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックスは、2012年12月17日よりインデックスの利回りの計算方法が変更になったため、水準が大きく変動しております。

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

利回り水準

《利回り比較》

(2019年8月23日現在)



※欧州ハイ・イールド債券は、指数(インデックス)の利回りを表示しているため、償還までの年限が異なります。また、利回りは指数(インデックス)の利回りであり、当ファンドの利回りとは異なります。

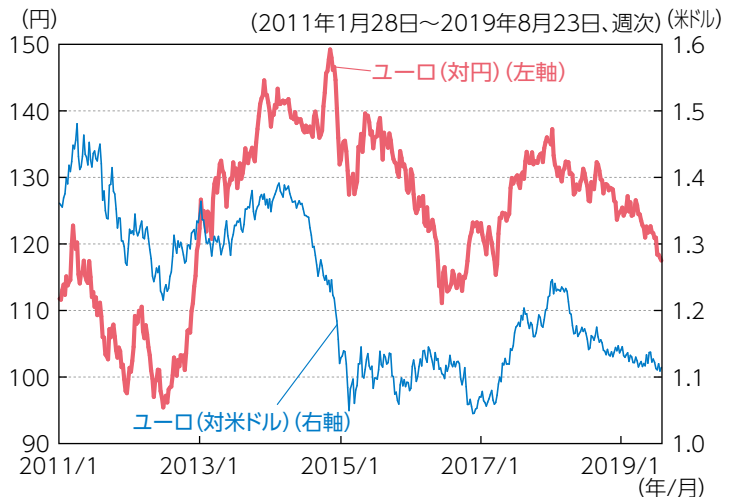
※欧州ハイ・イールド債券はユーロ建て、各10年国債は現地通貨建て(オーストラリア:オーストラリアドル建て、米国:米ドル建て、英国:英ポンド建て、ドイツ:ユーロ建て、日本:円建て)です。

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

為替推移

《ユーロの対円・対米ドルの推移》

(2011年1月28日～2019年8月23日、週次)



(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

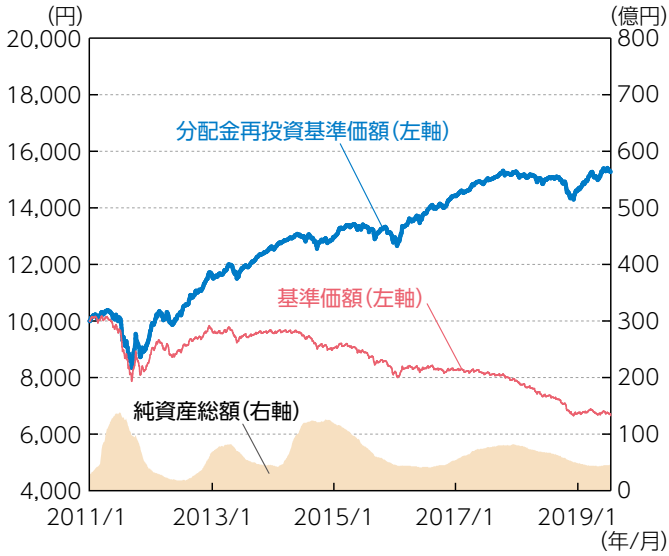
欧州ハイ・イールド債券オープン(毎月決算型)の運用実績(2019年8月19日現在)

*最新の基準価額、分配実績等は、当社ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

円コース

● 設定来の基準価額および純資産総額の推移

基準価額	6,659円	純資産総額	45.2億円
------	--------	-------	--------



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。各ファンドの実質的な信託報酬は、投資対象ファンドの信託報酬を間接的にご負担いただくこととなります。
 ※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
 ※グラフは、過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。また、税金、手数料等の費用を考慮しておりませんので、お客様が得られる実質の投資成果とは異なります。

● 分配実績(1万口当たり、税引前)

《円コース》 (年/月は決算月を表記)

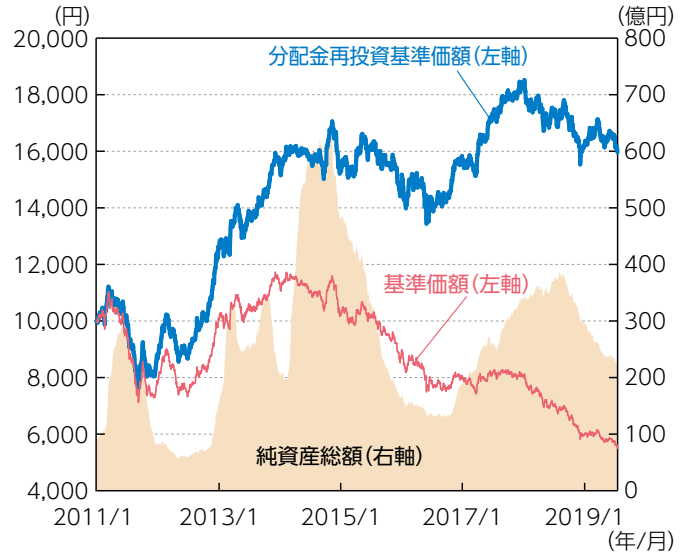
2011/2~2019/2	2019/3~2019/8	設定来合計
各70円	各50円	7,090円

※分配金は過去の実績であり、今後の運用状況によっては分配金が支払われない場合があります。

ユーロコース

● 設定来の基準価額および純資産総額の推移

基準価額	5,501円	純資産総額	220.6億円
------	--------	-------	---------



● 分配実績(1万口当たり、税引前)

《ユーロコース》 (年/月は決算月を表記)

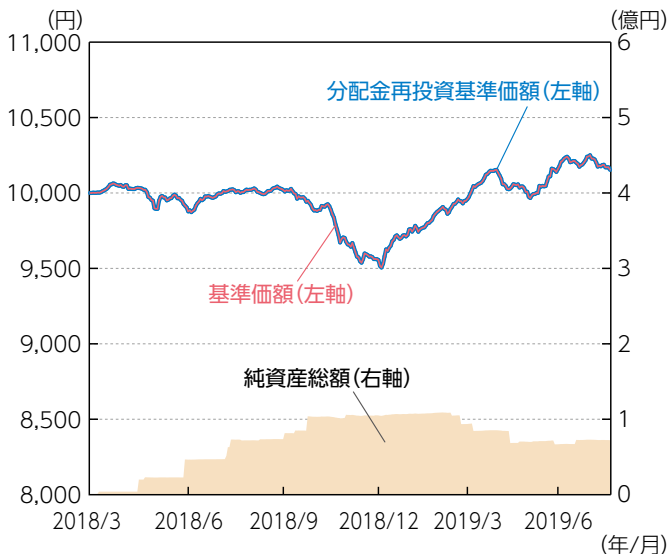
2011/2~2014/12	2015/1~2019/2	2019/3~2019/8	設定来合計
各80円	各100円	各50円	9,060円

欧州ハイ・イールド債券オープン(1年決算型)の運用実績(2019年8月19日現在)

円コース

● 設定来の基準価額および純資産総額の推移

基準価額	10,153円	純資産総額	0.7億円
------	---------	-------	-------

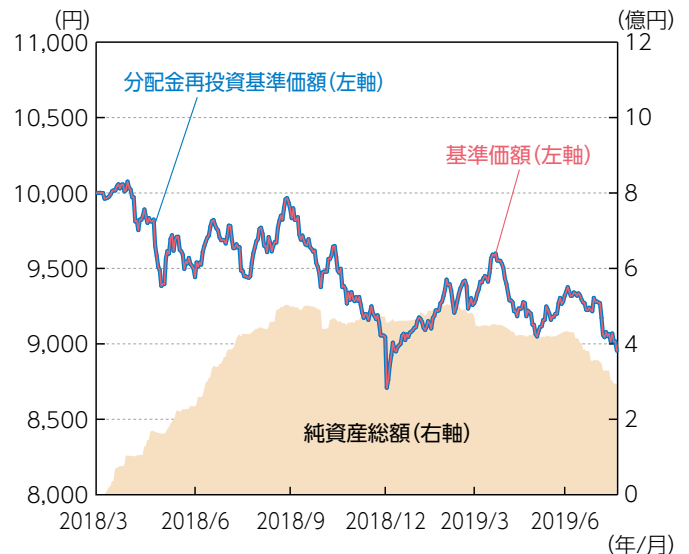


※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。各ファンドの実質的な信託報酬は、投資対象ファンドの信託報酬を間接的にご負担いただくこととなります。
 ※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。ただし、『1年決算型のファンド』においては分配金の支払い実績がないため、基準価額と分配金再投資基準価額の値は同じとなっております。
 ※グラフは、過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。また、税金、手数料等の費用を考慮しておりませんので、お客様が得られる実質の投資成果とは異なります。

ユーロコース

● 設定来の基準価額および純資産総額の推移

基準価額	8,954円	純資産総額	2.9億円
------	--------	-------	-------



上記は、過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

基準価額の変動要因

投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。

ファンドは、欧州諸国のハイ・イールド債券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

主な変動要因

信用リスク	有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となることがあります。ハイ・イールド債券等の信用格付の低い債券は、信用格付の高い債券と比較して、発行体の信用状況等の悪化により短期間に価格が大きく変動する可能性や債務不履行が生じる可能性が高いと考えられます。
金利変動リスク	金利は、経済環境や物価動向、金融政策、経済政策等を反映して変動します。一般に、金利が上昇した場合には債券の価格は下落し、金利が低下した場合には債券の価格は上昇します。ハイ・イールド債券の価格は、金利の変動や経済環境の変化等の影響を大きく受け、短期間に大幅に変動する可能性があります。
流動性リスク	有価証券等の時価総額が小さく、または取引量が少ないとき、市況の急変、取引所の閉鎖等により、有価証券等の売買価格が通常よりも著しく不利な価格となることがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域等における外貨不足等の経済的要因、政府の資産凍結等の政治的理由、社会情勢の混乱等の影響を受けることがあります。
為替変動リスク	<p><円コース> 外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しますが、為替ヘッジの対象となる外貨建資産は市況動向により変動することから、為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。</p> <p><ユーロコース> 外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。</p>

※基準価額の変動要因は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。

投資対象とするファンドの運用会社について

DWSインベストメントGmbHとはドイツ銀行グループの資産運用部門のドイツにおける拠点です。グローバルなネットワークを駆使し、投資家の多様なニーズに応える商品開発と優れた運用実績の実現を目指します。ドイツ国内における個人向け投資信託の運用資産残高において最大シェアを誇ります。

◀当商品販売用資料で使用している指数（インデックス）▶

- 欧州ハイ・イールド債券（ユーロ建て）：ICE BofAMLユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス
- 欧州国債（ユーロ建て）：ICE BofAMLユーロ・ガバメント・インデックス

ICE BofAMLユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックスおよびICE BofAMLユーロ・ガバメント・インデックスは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（「ICE Data」）及び／又はその第三者サプライヤーの財産であり、岡三アセットマネジメント株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

収益分配金に関する留意事項

- ファンドの分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われます。(図1)
分配金が支払われると、その金額相当分、ファンドの純資産が減少するため、基準価額は下がります。

※分配金の有無や金額は確定したものではありません。

ファンドで分配金が支払われるイメージ

(図1)

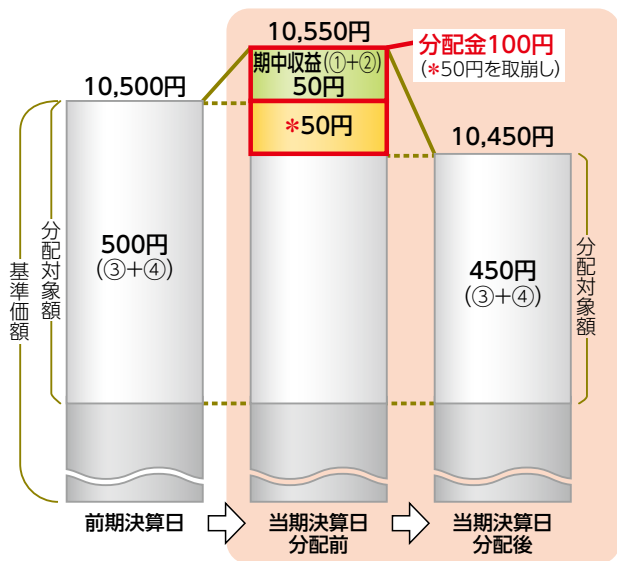


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)の中から支払われる場合と、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。(図2、図3)
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合のイメージ

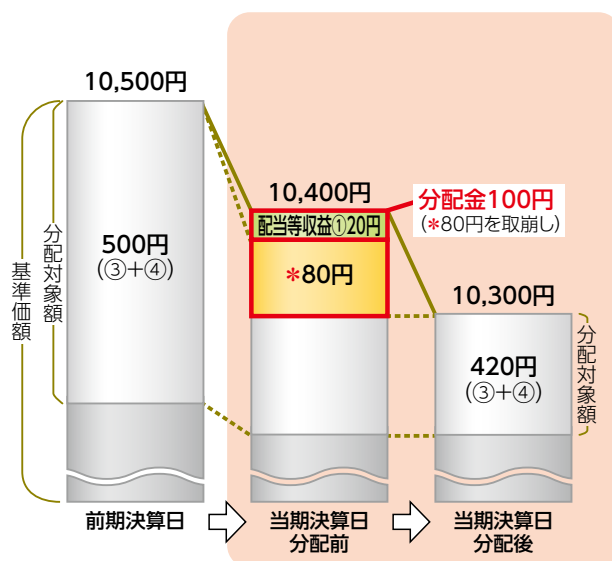
(図2)

前期決算日から基準価額が上昇した場合



(図3)

前期決算日から基準価額が下落した場合



※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額(①経費控除後の配当等収益 ②経費控除後の評価益を含む売買益 ③分配準備積立金 ④収益調整金)から支払われます。

分配準備積立金：期中収益(①+②)のうち、決算時に分配に充てずファンド内部に留保した収益を積み立てたもので、次期以降の分配金に充てることができます。

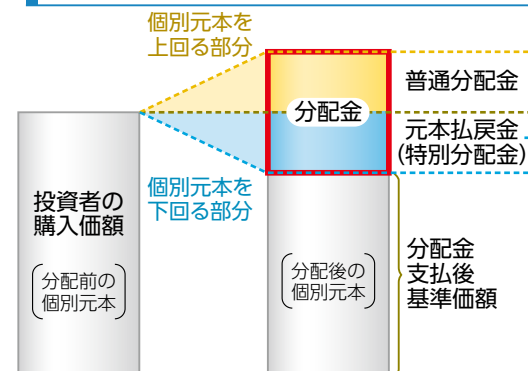
収益調整金：追加購入により、既存投資者の分配対象額が希薄化しないようにするために設けられたものです。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部(図4)または全部(図5)が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

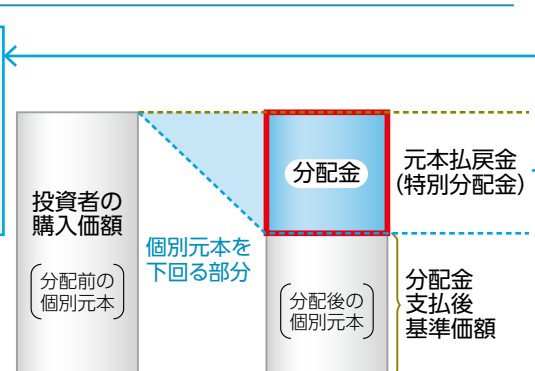
(図4)

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



(図5)

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少(特別分配金)します。

(注) 普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等<ファンドの費用・税金>」をご参照ください。

お申込みメモ

購入時	購入単位 [分配金受取りコース] 1万口以上1万口単位または1万円以上1円単位
	購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金時	換金単位 販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
	換金代金 換金申込受付日から起算して、原則として7営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
その他	スイッチング 各ファンド間でのスイッチングが可能です。 ◆スイッチングの取扱いは、販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にご確認ください。
	購入・換金申込不可日 以下に該当する日は、購入・換金申込みの受付を行いません。 ・ルクセンブルグまたはフランクフルトの銀行の休業日
	信託期間 <毎月決算型> 2021年1月18日まで(2011年1月28日設定) <1年決算型> 2028年1月18日まで(2018年3月28日設定) ◆各ファンド受益権口数が5億口を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
	決算日 <毎月決算型> 毎月18日(休業日の場合は翌営業日) <1年決算型> 毎年1月18日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配 <毎月決算型> 年12回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 <1年決算型> 年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ◆将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
	課税関係 課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度、未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除の適用はありません。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社およびその他の関係法人

委託会社 [投資信託財産の設定、運用の指図等]
岡三アセットマネジメント株式会社

受託会社 [投資信託財産の保管・管理等]
三井住友信託銀行株式会社

販売会社 [購入・換金の取扱い等]
岡三証券株式会社

委託会社お問合わせ先【岡三アセットマネジメント株式会社】



フリーダイヤル
0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)



ホームページ
<https://www.okasan-am.jp>

お客様にご負担いただく費用

お客様が直接的に負担する費用

購入時手数料

購入価額×購入口数×上限3.85% (税抜3.5%)

(岡三証券株式会社の場合)

購入口数	手数料率(税込み)
5,000万口未満	3.85%
5,000万口以上 1億口未満	2.75%
1億口以上 5億口未満	1.65%
5億口以上	1.10%

◇ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。

購入時

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.2%

換金時

お客様が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)

純資産総額×年率1.023% (税抜0.93%)

委託会社 年率0.40% (税抜)

◇委託した資金の運用の対価です。

販売会社 年率0.50% (税抜)

◇運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。

受託会社 年率0.03% (税抜)

◇運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。

運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担

純資産総額×年率1.723% (上限)

実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

保有期間中

その他費用・手数料

監査費用:純資産総額×年率0.0132% (税抜0.012%)

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

■本資料は、岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。本資料中の図表等は、各出所先(ホームページを含む)のデータを基に岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものです。記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■購入の申込みに当たっては、「投資信託説明書(交付目論見書)」及び「契約締結前交付書面」又は「目論見書補充書面」を十分にお読みいただき、投資判断は、お客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

作成:岡三アセットマネジメント株式会社